

◆科目名：英文法

◆曜限：水曜3限（12：30- 14：00）

◆担当者：石井 透

◆授業内容

生成文法理論では、母国語話者が自分が言いたいことを言うことが出来、他人が言おうとしていることを理解することが出来るのは、精神／脳の中に無意識的ながらも母国語に関する知識を持っているおかげであると考えています。母国語話者の言語に関する知識は、音に関する知識、語に関する知識、統語（一般的な用法での「文法」に当たる）に関する知識、そして意味に関する知識から成っていますが、このクラスでは、その中で特に統語に関する知識に焦点を当てます。

クラスではまず、「言語学とは何か？」について概観します。そして、英語を中心として様々な言語の具体的な統語現象の分析を行い、統語論の基本的概念を少しずつ身に付けていきます。その過程で、言語分析の科学的な方法論及び議論の立て方を身に付け、生成文法理論の統語論に入門することを目的とします。さらに、卒論のテーマ選びの手助けとなるように、テキストでの分析でさらに発展できる点の指摘も行います。

このクラスで扱う内容は、徐々に蓄積されそして累進的に専門的になっていきます。従って、テキストの指定箇所は、必ず授業に来る前に各自で読んで下さい。重要な内容を見落としたり理解不足のままでいると、その後のクラスの内容が理解できなくなります。

◆授業計画

<前期>

1. (4.13) Organization Meeting
2. (4.20) What is Linguistics? (1)
3. (4.27) What is Linguistics? (2)
4. (5.11) Syntactic Data and Syntactic Rules, Lexical categories and the Lexicon (1)
Read: Ch 3, 3.0-3.2.1 (p. 89 - p. 96, l. 37), <CQ Ch 3(1) Due>
5. (5.18) Lexical Categories and the Lexicon (2), Thematic Roles and English Constituent Order
Read: Ch 3, 3.2.1-3.2.2 (p. 96, l. 38 - p. 106), <CQ Ch 3(2) Due>
6. (5.25) Constituent Order in Other Languages, Case Marking and Constituent Order (1)
Read: Ch 3, 3.2.3-3.2.4 (pp. 107 - 116), <CQ Ch 3(3) Due>
7. (6.1) Constituent Order in Other Languages, Case Marking and Constituent Order (2)
8. (6.8) Predicates and Argument Structure
Read: Ch 3, 3.2.5 (pp. 116 - 122), <CQ Ch 3(4) Due>, <Problem Set 1 Due>
9. (6.15) Selection, Implicit Arguments, Null Pronouns, and the Theta-Criterion (1)
Read: Ch 3, 3.2.6 (pp. 122 - 127), <CQ Ch 3(5) Due>
10. (6.22) Selection, Implicit Arguments, Null Pronouns, and the Theta-Criterion (2)
11. (6.29) Semantic Selection, Categorical Selection, and Embedded Sentences (1)
Read: Ch 3, 3.2.7 (p. 128 - p. 134, l. 22), <CQ Ch 3(6) Due>
12. (7.6) Semantic Selection, Categorical Selection, and Embedded Sentences (2)
Read: Ch 3, 3.2.7 (p. 134, l. 23 - p. 137), <CQ Ch 3(7) Due>
13. (7.13) Mid-term Review, <Problem Set 2 Due>
14. (7.20) **Mid-term Exam**

<後期>

1. (9.21) Representing Phrase Structure (1)
Read: Ch 3, 3.3.1 (pp. 138 - 146), <CQ Ch 3(8) Due>
2. (9.28) Representing Phrase Structure (2)
Read: Ch 3, 3.3.1 (pp. 138 - 146)
3. (10.5) Evidence for Phrase Structure (1)
Read: Ch 3, 3.3.2 (p. 146 - p. 155, l. 3), <CQ Ch 3(9) Due>
4. (10.12) Evidence for Phrase Structure (2), Deriving Phrase Structure by Phrase Structure Rules (1)
Read: Ch 3, 3.3.2-3.3.3 (p. 155, l. 4 - p. 165), <CQ Ch 3(10) Due>
5. (10.19) Deriving Phrase Structure by Phrase Structure Rules (2)
Read: Ch 3, 3.3.3 (pp. 166 - 175), <CQ Ch 3(11) Due>

6. (10. 26) Some Basic Kinds of Syntactic Dependencies (1)
Read: Ch 4, 4.2.1 (pp. 224 - 233), <CQ Ch 4 (1) Due>, <Problem Set 3 Due>
 7. (11.2) Some Basic Kinds of Syntactic Dependencies (2)
Read: Ch 4, 4.2.2-4.2.3 (pp. 233 - 245), <CQ Ch 4 (2) Due>
 8. (11.9) Some Basic Kinds of Syntactic Dependencies (3)
Read: Ch 4, 4.2.2-4.2.3 (pp. 245 - 252), <CQ Ch 4 (3) Due>
 9. (11.16) Cross-linguistic Variations
Read: Ch 5, 5.2.1-5.2.2 (pp. 300 - 308), <CQ Ch 5 Due>, <Problem Set 4 Due>
 10. (11.30) Pronouns and Binding
Read: Ch 8, 8.1 (pp. 400 - 403), <CQ Ch 8 Due>
 11. (12.7) Generic/Mass and Telic/Atelic (1)
Read: Ch 9, 9.1 (pp. 422 - 431) (12.9), <CQ Ch 9 Due>
 12. (12.14) Generic/Mass and Telic/Atelic (2)
Read: Ch 9, 9.1 (pp. 422 - 431)
 13. (12.21) Final Review (1) , <Problem Set 5 Due>
 13. (1.11) Final Review (2)
 14. (1.18) **Final Exam**
- ◆テキスト : Victoria Fromkin (ed.) (2000) *Linguistics: An Introduction to Linguistic Theory*. Blackwell. (必要な部分のコピーは、以下のコースパケットの中に含まれています。)
- ◆コースパケット
このクラスに必要な教材をひとまとめにしたものです。リザーブ・ブック（中央図書館B2階）にて借りて、各自コピーをして下さい。コースパケットの中には、以下のものが含まれています。テキストのコピー、Erratum（テキストの正誤表）、Ch 3 (1-12)、Ch 4 (1-3)、Problem Sets 1-4（なお、Comprehension Quiz 及び Problem Sets の残りは後期開始時にリザーブ・ブックにて配布します。)
- ◆Comprehension Quiz : テキストの主な内容についての英問英答の問題です。
Problem Sets : テキストで見た言語分析についての練習問題です。
上記2つの提出物は、3—4人でグループを作りその中で話し合って答えを1つ提出して下さい。グループ全員に同じ得点が与えられます。但し、提出当日の欠席者には得点が与えられません。
- ◆Mid-term Exam, Final Exam
クラスで扱った内容がその範囲となります。多岐選択式及び短答式の知識に関する問題と、言語分析問題（その中には Problem Sets と同型式の問題が含まれる）が出題されます。
- ◆出席
欠席届のある部活動・実習等による欠席を含めて、年間6回以上欠席した受講生には、単位を認定しません。なお病気等やむを得ない理由で長期にわたり欠席する際には、必ず事前に相談して下さい。
- ◆遅刻 : 15分以上の遅刻（12 : 45以降の入室）は欠席とします。
- ◆提出期限
Comprehension Quiz 及び Problem Sets の提出期限は、授業開始時とします。15分以上遅れた場合には受理しません。但し、1年間で3日間の Days of Grace を設けます。Days of Grace とは、クラスの中での提出物の提出期限を合わせて3日だけ伸ばせるというものです。3つの提出物の提出期限をそれぞれ1日ずつ伸ばすために使うこともできますし、ひとつの提出物の提出期限を3日遅らせることに使うこともできます。（注意 : 15分以上提出が遅れた場合には、1日遅れとなります。）
- ◆成績評価
出席 5%（欠席届なしに1回欠席するごとにマイナス1%）、発表点 5%、Comprehension Quiz 35%、Problem Sets 15%、Mid-term Exam 20%、Final Exam 20%